

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第25期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社オートウェーブ
【英訳名】	AUTOWAVE CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 廣岡 大介
【本店の所在の場所】	千葉県稲毛区宮野木町1850番地
【電話番号】	043-250-2669
【事務連絡者氏名】	取締役法務・IR室長 廣岡 耕平
【最寄りの連絡場所】	千葉県稲毛区宮野木町1850番地
【電話番号】	043-250-2669
【事務連絡者氏名】	取締役法務・IR室長 廣岡 耕平
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第24期 第2四半期連結 累計期間	第25期 第2四半期連結 累計期間	第24期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	5,426,697	4,701,939	11,172,001
経常利益(千円)	114,288	10,824	325,598
四半期(当期)純利益(千円)	207,884	3,309	544,433
四半期包括利益又は包括利益(千円)	207,884	3,309	544,433
純資産額(千円)	2,058,577	2,398,436	2,395,127
総資産額(千円)	10,057,074	9,621,086	9,814,699
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	14.39	0.23	37.68
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	20.5	24.9	24.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	73,191	22,803	360,741
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	4,184	203,201	113,059
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	21,020	22,466	282,040
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残 高(千円)	608,054	729,249	525,710

回次	第24期 第2四半期連結 会計期間	第25期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当 り四半期純損失金額()(円)	4.95	0.84

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項につきましては、当四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）におけるわが国経済は、金融政策及び経済対策の効果で、企業収益には改善が見られるものの、個人消費伸長の手応えは感じられず、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当カー用品業界におきましては、前年のエコカー補助金などの政策効果によるカー用品需要増の反動もあり、全般的に厳しい状況で推移いたしました。

そのような中、当社グループでは、新たに将来を見据えた「中期経営計画2013」を策定し、平成24年度経営計画をさらに発展させ、収益性と経営効率の向上を目指して競争力を強化し、お客様への親切の徹底により、リピーターの確保と新たなお客様の獲得による経営基盤の確立に取り組んで参りました。

商品別の売上高につきましては、板金・塗装や洗車事業につきましては前期実績を上回り堅調に推移いたしましたが、その他の商品につきましては前期実績を達成できず、全体としては前期比13.4%の減収となりました。一方、売上総利益率につきましては、商品構成の変化により33.4%と、前期比2.6ポイント上昇いたしました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は4,701百万円（前期比13.4%減）、営業損失は32百万円（前年同四半期は営業利益82百万円）、経常利益は10百万円（前期比90.5%減）、四半期純利益は3百万円（前期比98.4%減）となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して203百万円増加し、729百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、22百万円（前年同四半期は73百万円の収入）となりました。資金の主な増加項目は、減価償却費98百万円、売上債権の減少68百万円であり、資金の主な減少項目は、たな卸資産の増加52百万円、利息の支払額57百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、203百万円（前年同四半期は4百万円の支出）となりました。資金の主な増加項目は、敷金及び保証金の回収による収入276百万円、長期貸付金の回収による収入10百万円あり、資金の主な減少項目は、預り保証金の返還による支出34百万円、有形固定資産の取得による支出20百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、22百万円（前年同四半期は21百万円の支出）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出21百万円によるものであります。

(3)財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は9,621百万円（前期末9,814百万円）となりました。負債は7,222百万円となり、前連結会計年度末比196百万円（2.7%）の減少、純資産は2,398百万円で、前連結会計年度末比3百万円（0.1%）の増加となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.5ポイント増の24.9%となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

カー用品業界におきましては、カーユーザーの消費節約志向や若者のクルマ離れなど、引き続き厳しい市場環境が続くものと思われま

す。その様な事業環境の中、当社グループでは新たに策定した「中期経営計画2013」に基づき、収益性と経営効率の向上に取り組んで参ります。

収益性の向上につきましては、車検・整備、板金・塗装等のメンテナンスサービスと、タイヤ交換などの消耗品の提供に注力することで、売上総利益率の向上を目指します。また、既存店舗に洗車機の導入をはじめとした各種活性化投資を実施し、地域ごとの競争環境に合わせた品揃え、売場づくりを行なうことにより、リピーターの確保と新たなお客様の獲得、並びに顧客満足度の向上を図って参ります。

また、引き続き経費削減を徹底するとともに、在庫管理の徹底とロスの防止、保有資産の有効活用に取り組み経営効率の向上を図って参ります。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	39,600,000
計	39,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,451,000	14,451,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式 100株
計	14,451,000	14,451,000		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	14,451,000	-	1,451,175	-	1,611,819

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
廣岡 等	千葉県浦安市	1,405,840	9.73
井上 義人	東京都葛飾区	1,300,000	9.00
ウェーブ会 (注)	千葉市稲毛区宮野木町1850	1,219,500	8.44
藍澤證券(株)	東京都中央区日本橋1-20-3	712,500	4.93
廣岡 昭彦	千葉市稲毛区	669,660	4.63
廣岡 大介	東京都中央区	593,660	4.11
廣岡 耕平	千葉県浦安市	489,660	3.39
従業員持株会	千葉市稲毛区宮野木町1850	370,800	2.57
三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	東京都千代田区丸の内2-5-2	301,900	2.09
(株)SBI証券	東京都港区六本木1-6-1	238,300	1.65
計		7,301,820	50.53

(注) ウェーブ会は、当社の取引先持株会であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,449,800	144,498	-
単元未満株式	普通株式 1,000	-	-
発行済株式総数	14,451,000	-	-
総株主の議決権	-	144,498	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」には、証券保管振替機構名義の株式が300株(議決権の数3個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社オートウェーブ	千葉市稲毛区宮野木町 1850番地	200	-	200	0.0
計	-	200	-	200	0.0

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
常務取締役	管理本部長兼 不動産部長	常務取締役	管理本部長兼 不動産事業本部長	廣岡 勝征	平成25年8月1日
取締役	営業本部長兼 サービス事業部長	取締役	営業本部長	小森 靖史	平成25年8月1日
取締役	商品部長	取締役	商品本部長	管野 英貴	平成25年8月1日

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清和監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	525,710	729,249
受取手形及び売掛金	350,435	276,387
商品及び製品	711,776	759,518
その他	540,455	289,932
貸倒引当金	11,899	10,639
流動資産合計	2,116,478	2,044,448
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,697,342	4,664,038
減価償却累計額	1,860,695	1,900,243
建物(純額)	2,836,646	2,763,795
土地	2,512,186	2,512,186
その他	1,176,207	1,181,724
減価償却累計額	966,777	968,393
その他(純額)	209,430	213,331
有形固定資産合計	5,558,263	5,489,312
無形固定資産	40,937	35,379
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,959,439	1,916,440
その他	168,136	164,099
貸倒引当金	28,695	28,695
投資その他の資産合計	2,098,880	2,051,844
固定資産合計	7,698,081	7,576,537
繰延資産	139	101
資産合計	9,814,699	9,621,086
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	450,103	438,898
1年内返済予定の長期借入金	52,040	32,040
未払法人税等	45,976	13,002
賞与引当金	5,920	5,520
ポイント引当金	13,308	10,520
建物等除却損失引当金	31,688	-
その他	480,262	417,436
流動負債合計	1,079,298	917,418
固定負債		
長期借入金	4,731,051	4,729,861
長期預り敷金保証金	1,058,312	1,018,967
資産除去債務	382,006	386,245
その他	168,902	170,157
固定負債合計	6,340,273	6,305,231
負債合計	7,419,571	7,222,649

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,451,175	1,451,175
資本剰余金	1,611,819	1,611,819
利益剰余金	667,711	664,401
自己株式	155	155
株主資本合計	2,395,127	2,398,436
純資産合計	2,395,127	2,398,436
負債純資産合計	9,814,699	9,621,086

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	5,426,697	4,701,939
売上原価	3,741,222	3,141,509
売上総利益	1,685,474	1,560,430
販売費及び一般管理費	1,602,742	1,593,381
営業利益又は営業損失()	82,731	32,951
営業外収益		
受取手数料	59,415	62,320
その他	40,297	37,019
営業外収益合計	99,713	99,339
営業外費用		
支払利息	58,265	55,302
その他	9,891	261
営業外費用合計	68,156	55,563
経常利益	114,288	10,824
特別損失		
固定資産除却損	602	9,262
減損損失	823	1,197
特別損失合計	1,425	10,459
税金等調整前四半期純利益	112,862	364
法人税、住民税及び事業税	9,707	5,940
過年度法人税等戻入額	3,454	-
法人税等調整額	101,275	8,885
法人税等合計	95,021	2,944
少数株主損益調整前四半期純利益	207,884	3,309
四半期純利益	207,884	3,309

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	207,884	3,309
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	207,884	3,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,884	3,309
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	112,862	364
減価償却費	102,529	98,855
減損損失	823	1,197
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,738	1,260
受取利息及び受取配当金	2,364	2,642
支払利息	58,265	55,302
売上債権の増減額(は増加)	26,878	68,878
たな卸資産の増減額(は増加)	93,305	52,699
仕入債務の増減額(は減少)	10,304	11,204
賞与引当金の増減額(は減少)	1,020	400
ポイント引当金の増減額(は減少)	2,981	2,788
建物等除却損失引当金の増減額(は減少)	-	31,688
転貸損失引当金の増減額(は減少)	10,200	-
リース資産減損勘定取崩額	8,395	2,264
固定資産除売却損益(は益)	602	20,931
未払費用の増減額(は減少)	10,004	39,094
未払消費税等の増減額(は減少)	8,195	10,291
営業保証金の増減額(は増加)	32,663	26,638
その他	22,548	11,140
小計	138,858	106,694
利息及び配当金の受取額	2,364	2,720
利息の支払額	58,382	57,087
法人税等の支払額	9,649	29,523
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,191	22,803
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	4,230	20,684
無形固定資産の取得による支出	2,505	1,412
固定資産の除却による支出	-	8,075
敷金及び保証金の差入による支出	1,501	11,608
敷金及び保証金の回収による収入	29,529	276,591
預り保証金の返還による支出	33,592	34,176
長期貸付金の回収による収入	10,584	10,584
その他	2,469	8,017
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,184	203,201
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	21,020	21,190
リース債務の返済による支出	-	1,276
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,020	22,466
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	47,986	203,538
現金及び現金同等物の期首残高	560,068	525,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	608,054	729,249

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「未払費用の増減額(は減少)」は、当第2四半期連結累計期間では金額的重要性が増したため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書の組み替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた12,543千円は、「未払費用の増減額(は減少)」10,004千円、「その他」22,548千円として組み替えております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給料及び手当	637,224千円	616,393千円
ポイント引当金繰入額	8,673	5,494
賃借料	331,291	322,461

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	608,054千円	729,249千円
現金及び現金同等物	608,054	729,249

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

従来、当社グループは報告セグメントを「自動車用品販売事業」としておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「自動車用品販売等事業」に名称を変更しております。この変更は、既存の店舗施設の有効活用の重要性が増してきたことに伴い、これらを自動車用品販売部門の拠点としてのみならず、その他のテナントへの賃貸も含めた複合施設として位置づけ活用するという事業方針の変更に基づき、不動産部門を含めた店舗ごとの収益性をより詳細にマネジメントし、その実態をより適切に表示するために行ったものであります。

なお、当社グループは店舗ごとを基礎とした「自動車用品販売等事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは店舗ごとを基礎とした「自動車用品販売等事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	14円39銭	0円23銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	207,884	3,309
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	207,884	3,309
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,450	14,450

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月6日

株式会社オートウェーブ

取締役会 御中

清和監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 藤本 亮 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 平澤 優 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オートウェーブの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オートウェーブ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。